

株式会社 ミライロ

所在地 大阪市淀川区西中島 3-8-15  
新大阪松島ビル 8F  
事業内容 ユニバーサルデザインのソリューション提供  
TEL 06-6195-7853

## ユニバーサルデザイン提案により新たな価値を提供

ユニバーサルデザインにおける新たな商品開発・ソリューション提供を通して、誰もが暮らしやすい社会づくりを目指している。

### 沿革

#### ◆ 起業に至る経緯

代表取締役の垣内俊哉氏は立命館大学在学中から起業意識が高く、取締役副社長の民野剛郎氏とともに、前身となる「Value Added Network」を2009年5月に創業。そこで様々なビジネスモデルを検討し、応募したビジネスプランコンテストにて「キャンパス・ベンチャー・グランプリ大阪」のビジネス大賞を受賞するなど、多岐に亘る受賞歴を持つ。

垣内氏が生まれつき「骨形成不全症」という病を抱えていたことで、日々培ってきた経験や考え方を活かし、福祉分野にて新たな価値を創造していきたいという思いから、2010年6月に株式会社ミライロを設立した。

### 特徴・強み

#### ◆ ビジネスモデルとその特徴

現在の事業構成は3部門に分類される。

1つ目は、売上の約50%を占めるユニバーサルマナー部門で、主に研修や検定を実施し、意識を変革していくのが目的である。

2つ目は、売上の約40%を占めるビジネスソリューション部門で、アーキテクチャーやミライロコネクトを手掛けている。

3つ目は、売上の約10%を占めるITソリューション部門で、障害を持つ方々のプラットフォームを構築する必要性を感じ、障害者手帳を電子化するアプリケーション「ミライロID」を2019年にリリースした。

#### 【ユニバーサルマナー検定2級 車いす実技】



#### 【遠隔手話通訳の様子】



#### 【ミライロID 鉄道利用時の様子】



## 【ミライロ ID 使い方のイラスト】



### ◆ 強み・アピールポイント

当社はユニバーサルデザイン分野において総合的なソリューションを提供する国内唯一の企業として、「環境」・「意識」・「情報」の3つのバリアを解消できるソリューション及び人材を有し、多数の実績を積み上げている。

## 将来展望

### ◆ 今後の事業展開

#### 5年後、10年後の目標とする到達点やロールモデル

5年後の目標としては、ユニバーサルデザインの経済圏を創造し、新規ユーザーの参入による市場の活性化を目指していきたい。そのためには国内の障害者プラットフォームを形成することが不可欠である。また、国内に限らず世界規模（約10億人）の経済圏を見据えた事業を展開していく。

### ◆ 今後新たに開発したい商材・サービス

#### 拡充したい販路（ターゲット層）

現在、日本国内において約700万人の障害者手帳ユーザーがいる中で、少なくとも数年で3分の1近くのユーザー数を獲得し、更なる収益基盤の拡大を図っていく。具体的には収益源であるBtoB事業を拡大していくとともに、アプローチしきれていない鉄道事業者らとの業務連携を推進する。

今後は、特にITソリューション部門の事業規模の拡大に注力し、数年後には当社事業の柱にまで成長させたいとしている。

## PR事項

### ◆ 提供サービスにおけるPR事項

唯一オンライン上で障害者を認証できるサー

ビス「ミライロ ID」は、2020年にマイナンバーカードとの業務連携が決定するなど、国からも認知されるアプリケーションへと進化を遂げている。

## 【ミライロ ID のスマホ画面】



また、今後はミライロ ID とチケットサービス各社とのマッチングを普及させていくことで、手数料やシステム利用料として新たな収益モデルを獲得することが期待されている。

## 会社概要

設立：2010年6月  
資本金：9,600千円  
従業員数：54人  
URL：<http://www.mirairo.co.jp>  
主力サービス開始時期：2010年頃